

# シラバス

授業科目	医薬品開発 I		
(英 文 名)	Development of Drug I		
担当教員	石津 隆 他		
単位数(期別)	△1(後)	対象学生	2P

## ■授業のねらい・概要■

ドラッグデザインの科学的な考え方を理解するために、標的生体分子との相互作用および基盤となるサイエンスと技術に関する基本的知識と技能を修得する。【C17(2)】

## ■授業(学習)の到達目標■

- 1 古典的な医薬品開発から理論的な創薬への歴史について説明できる。
- 2 医薬品開発の標的となる代表的な生体分子を列挙できる。
- 3 医薬品と標的生体分子の相互作用を、具体例を挙げて立体化学的観点から説明できる。
- 4 立体異性体と生物活性の関係について具体例を挙げて説明できる。
- 5 医薬品の構造とアゴニスト活性、アンタゴニスト活性との関係について具体例を挙げて説明できる。
- 6 スクリーニングの対象となる化合物の起源について説明できる。
- 7 代表的なスクリーニング法を列挙し、概説できる。
- 8 定量的構造活性相関のパラメーターを列挙し、その薬理活性に及ぼす効果について概説できる。
- 9 生物学的等価性(バイオアイソスター)の意義について概説できる。
- 10 薬物動態を考慮したドラッグデザインについて概説できる。

## ■回数ごとの授業内容■

- |                                  |                               |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1 古典的な医薬品開発から理論的な創薬への歴史(石津)      | 7 スクリーニングの対象となる化合物の起源について(青野) |
| 2 医薬品開発の標的となる代表的な生体分子(石津)        | 8 代表的なスクリーニング法(青野)            |
| 3 医薬品と標的生体分子との相互作用(石津)           | 9 定量的構造活性相関のパラメーターと薬理活性(淀)    |
| 4 立体異性体と生物活性の関係(藤岡)              | 10 薬物動態を考慮したドラッグデザイン(淀)       |
| 5 医薬品の構造とアゴニスト活性(藤岡)             |                               |
| 6 医薬品の構造とアゴニスト、アンタゴニスト活性との関係(藤岡) |                               |

## ■成績評価の方法・基準■

中間試験、期末試験を総合して評価する。

## ■使用テキスト■

NEW 医薬品化学 ISBN978-4-567-46154-2 C3047 廣川書店

## ■参 考 書■

薬学のための無機化学 桜井 弘編著 化学同人 ISBN4-7598-0988-0 C304

オフィス・アワー (授業内容等の質問・相談日)	随時
----------------------------	----

# シラバス

〈使用テキスト注文書〉

注) すべての項目をご記入下さい。

書名	NEW 医薬品化学
著者名	日比野 侑、夏刈英昭、廣田耕作
出版社名	廣川書店
ISBN・ISSN	ISBN978-4-567-46154-2 C3047
予想部数	200部